

第1回松尾・下久堅地区治水事業協議会 議事要旨

1. 開 会

2. 事務所長挨拶

3. 松尾・下久堅地区治水事業協議会 規約（案）について

松尾・下久堅地区治水事業協議会規約（案）について了承され、平成22年6月8日を期日として施行されることになりました。（委員19名中18名出席）

4. 委員長挨拶

5. 議 事

(1) 松尾・下久堅地区治水事業の進め方について

松尾・下久堅地区治水事業の進め方について説明し、確認されました。

(2) 鷺流峡周辺の現状と課題について

鷺流峡周辺の現状と課題について、説明し確認されました。

(3) 今後の予定について

事務局より、水理模型を視察してもらう目的で、第2回松尾・下久堅地区治水事業協議会を開催する予定であることを説明し、確認しました。

6. 閉 会

7. 協議会で頂いた主な意見

- ・ これから私達が川とどう関係し、何百年後も地域として川とどう関わっていくか大きな問題である。
- ・ 鷺流峡は訪れた人をととても楽しませてくれる場所であるので今後どうしたらいいのか一緒に考えたい。
- ・ 鷺流峡の狭窄部に加えて、龍江地区では天龍峡の狭窄部に非常に関心があり、災害に悩まされてきた経緯がある。
- ・ 天竜川とそれにまつわる林業等全てが地域の産業経済に関係していることから、災害がなくなるように協議していききたい。
- ・ 鷺流峡については、子供の頃から泳いだり魚釣りをしたので関心がある。
- ・ 治水については、特に市民の皆さんも関心が高いと思っている。
- ・ 三六災を経験しており、若い人たちにも治水のあり方をもう一度考えてもらいたい。
- ・ 治水、利水そして文化、住民の意識そういった切口で天竜川に関係することについて、将来を見据えた活動を継続的に行っており、広い視野に立って協議会に貢献していききたい。
- ・ 岩洲でかかる魚は非常におもしろいと最近は県外のつり客が南原橋の下へも降りてくる。多くの方に天竜川で楽しんでいただきたいと思うが、昨年あたりから白濁の問題がある。
- ・ 南原橋と鷺流峡の問題を考えると、鷺流峡入口部をもっと広くすると、たぶん水害も少なくなると思う。ただし、鷺流峡入口部の岩肌の流れをなくしてしまう可能性があり、観光上非常に寂しくなる。水害の面、観光の面などを考えるとどれを優先するのか。
- ・ 鷺流峡の下流の流れがどうなるかということに特に関心を持っている。
- ・ 毛賀沢川、久米川といった支川の管理、県道にかかる橋を管理しており、その中でも、安全・安心の地域づくりというのが最も県政の大きなテーマである。
- ・ リバーガイドとして南原橋の下流辺りの風景の変化なども知っているので、そのようなことも含めて協議会の力になりたい。
- ・ 松尾地区は水に非常に関心があって、伊賀良、鼎辺りの水が全部集まってくる。この集まってくる水をいかに上手く天竜川に流せるかは、天竜川の流れを考える必要があり、水の流れに関しては鷺流峡がある程度関係してくると思う。
- ・ 鷺流峡の治水対策をすることによって、下流の川路・龍江・竜丘にどのように影響するのかが重要であり、景観も同時に考えていく必要がある。
- ・ 鷺流峡の水をいかにうまく流すかを考えた時に観光面や地質のこともあり簡単ではないと思う。時又から下流の河床を調整・工夫できないか。
- ・ 鷺流峡が市街地に接しているにも係わらず風向明媚であるところは侵したくない。一方で、南原橋の狭窄部で巨大な渦が巻いていたのを見た経験があるの

で治水対策は必要だと思う。鷺流峡の風光明媚なところは温存しつついい治水対策工事を研究してもらいたい。

- 河道掘削しただけで鷺流峡上流の治水対策ができるか疑問である。
- 下久堅地区と松尾地区の堤防差が大きくて、洪水時に下久堅地区側へ水が流れてくるため、堤防の嵩上げ・本堤化をしてもらいたい。また、新水神橋と南原橋の間の突出した部分の藪あるいは岩盤を削って、南原橋上流の水が鷺流峡に直線的に入るようにすればいいのではないか。